

令和5年度 粟ノ保小学校だより

令和5年12月4日 NO. 17



ひまわり

羽咋市立粟ノ保小学校
校長 田中 利弘

スローガン【すべては 子どもたちの 心の笑顔のために】

◇全校集会：校長の話◇12/1(金)

12月に入りました。「師走」です。1年があっという間に過ぎていく感じがします。11月半ばからインフルエンザA型が学校に入りました。感染力の強さを感じた次第であります。今は風邪症状も落ち着いています。健康管理をしっかりといきましょう。さて、全校集会の話です。今月はチャレンジし続けた「エジソン」の話をしました。



電球を発明した人は、粟ノ保っ子たちは知っていました。その他にも、1300以上の発明をして、発明王と言われている人です。その中でも特にエジソンの三大発明と言われているモノが、蓄音機、動画撮影機、電球です。ただ、最初に電球を発明した人はエジソンではありません。ジョセフ・スワンという人がエジソンより1年前に電球の発明に成功しています。スワンを知っている人はいませんか？どうして、最初に電球を発明したスワンより、エジソンの方が有名なのでしょうか？その話をしたかったのです。

エジソンは、電球を長くつけるために、**何回、実験をしたの？**

①1回 ②10回
③50回 ④1万回

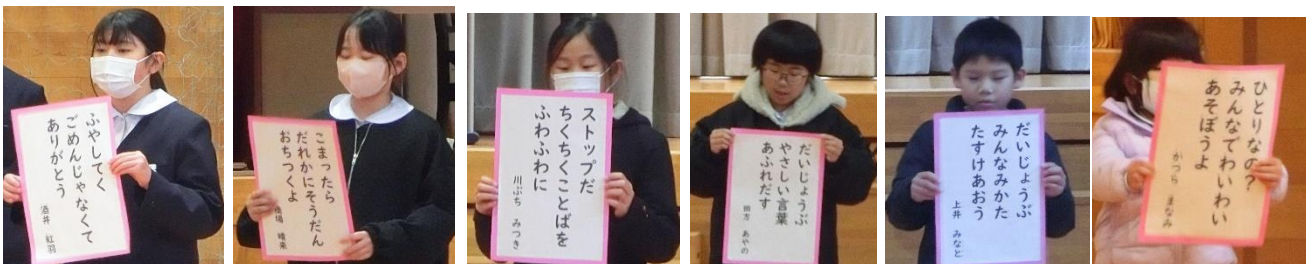
1万回、^{しばい}失敗しても実^{つづ}験を**続**けたことは…

それは^{しばい}失敗^{せいこう}じゃなくて、**成功**なんだよ

エジソンの言葉。「私たちの最大の弱点はあきらめることにある。成功するのに最も確実な方法は、常にもう一回だけ試してみることだ」。あきらめずに「もう1回やってみよう」と続けた結果なんです。これからもうまくいかないうちがあるかもしれません。そんな時にエジソンの言葉を思い出してみてください。

◇きずな児童集会◇12/1(金)

各学年の「人権標語」を発表してもらいました。校内に掲示します。



裏面あります

◇校長の雑感◇

「叱るとほめるの違い」

「子どもはほめて伸ばすもの」と簡単に言いますが、「ほめること」がどうして子どもを伸ばすことに関わるのでしょうか？

「叱ること」と、どこに違いがあるのでしょうか？

叱ることによって、言動の良くないモデルを知らせます。

「叱られる」と、子どもは、「これはダメなことなのだ」ということが分かります。

「してはダメのイメージ」を持ちます。それによって、マイナスの方向に進ませない様にすることができます。

しかし、いい方向を示す、プラスのイメージを持たせることはできません。これに対して、「ほめること」には、「いいことのモデル」をつかませる働きがあります。「いいモデル」をつかむと、子どもは「いいモデル」に向かってプラスの努力をします。その結果、望ましい方向にどんどん伸びていきます。「ほめること」の根底にあるものは、「認める」という愛情です。ほめられることを通して、子どもは、深い愛情を感じ取っていきます。

さて、2学期終盤です。お子様は前向きに頑張っているでしょうか。子ども対象の調査物でも「子どもの自己肯定感が低いのではないか。」「どうしたらやる気になってくれるかな。」という話題を聞きます。保護者の皆さんはいかが感じていますか。「そう思うわ」「うちの子は大丈夫や」「どうしたらいい」と反応はいろいろでしょう。我が子への接し方を振り返ってみてはいかがでしょうか。以下の点、参考までに紹介します。

- 1 子どもの話を聞いて肯定してあげる・・・口を挟まずよく聞いてあげる
- 2 子どもに選択してもらう・・・選んだ結果を肯定的に
- 3 ほめるときは、結果よりも過程をほめる・・・よくやっていたね
- 4 転ばぬ先の杖はつかない
・・・先回りして準備しすぎない、自分で考えさせる



◇東大セミナー：56年生◇11/24(金)

羽咋小にて、粟ノ保小、羽咋小、西北台小合同で、講演会を聞きました。ツェーゲン金沢アンバサダー辻真二氏による講演会でした。まず、プロのサッカー選手になる確率を聞きました。高卒でJ1に入る確率は1000人に1人。大卒なら100人に1人の割合。厳しい現実。そして、プロに入れても一度も公式試合に出られないで引退する選手が多いとのこと。そんな中で、尾辻選手は10年間J1に在籍し、251試合出場したそうです。まず、これだけでも偉大さが伝わります。「どんな人がプロで成功するのか？」話をしてくれました。4つ挙げられました。私も大いに共感しました。スポーツ以外にも応用できますね。

- ① 向上心、野心を持ち続けること。
⇒継続力、リバウンドメンタリティー
- ② 自信と謙虚さを持っている⇒傾聴力
- ③ 自分を客観的に観れる⇒自分の役割を理解できる
- ④ コミュニケーション能力⇒自分の意見を主張できる



- ① 向上心、野心を持ち続けること。⇒継続力、リバウンドメンタリティー
- ② 自信と謙虚さを持っている⇒傾聴力
- ③ 自分を客観的に観れる⇒自分の役割を理解できる
- ④ コミュニケーション能力⇒自分の意見を主張できる